

お願い

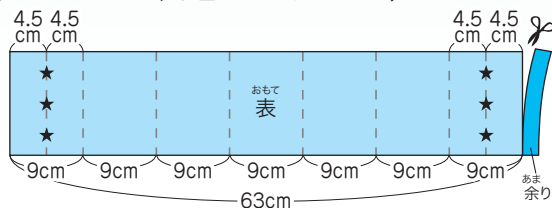
加工には細心の注意をはらっておりますが、布生地 특성上、多少、カットのズレや布のゆがみが出ることがあります。
布生地や、左布はしをまっすぐに整ってから作品を作りましょう。

1 しるしをつける ※この作品は、布の表にしるしをつけます。

まずは、布の表に左から9cmずつしるしをつけて、そのあとに両はしの4.5cmのしるしをつけよう。(全部で8ヶ所)
最後に、右はしの余りを切りおとそう。

※できあがりの作品に、しるしが出てきます。

(★はティッシュの取り出し口になる場所)

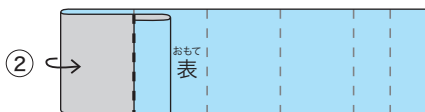


2 布を折る

図を見ながら、まちがえないよう、順番に折る。



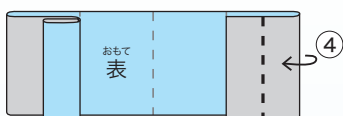
つぎ、次に折るところをまちがえないよう注意!!



つぎ、次に折るところ



つぎ、次に折るところ



つぎ、次に折るところ



つぎ、次に折るところ



ピタッ

ポイント!!

まち針でとめておくとお布がずれにくい。
(しつけをした場合は、まち針をぬいてからぬう)

ポイント!!

しるしにそって、しっかりと折り目をつけると、きれいに仕上がるよ。

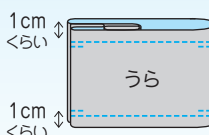
ここでチェック!!



★のところは、ティッシュの取り出し口になるよ。
すき間がでえないように★と★をぴたぴたと合わせるようにして折ろう。

3 布をぬう

はしから1cmくらいのところにしるしをつけ、ぬう。



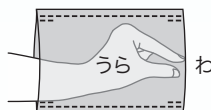
★手ぬいの場合★

・ぬい始めとぬい終わりは、玉どめ、玉結びをしよう。
・なみぬいが返しぬいでぬおう。(返しぬいでぬうと、じょうぶにぬえるよ)

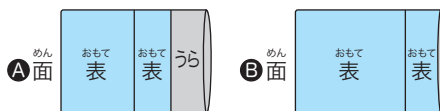
ぬい始めとぬい終わりは、返しぬいをしよう。

4 布を表に返す

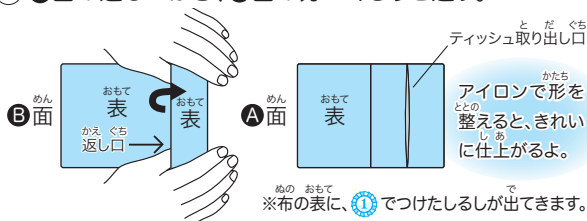
① おくまで手が入るところをさがして手を入れ、「わ」の部分を持って全体を表に返す。



② 表に返したら、かた面がA、もうかた面がBのようにになっているか、かくにんする。



③ B面の返し口から、A面の方へぐりと返す。

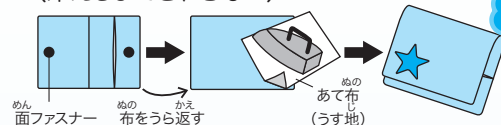


※布の表に、①でつけたしるしが出てきます。

5 面ファスナーをつける

① 面ファスナーの位置を決め、台紙からはがして仮どめをする。ちょうど合う位置をさがそう。

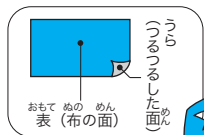
② 仮どめをしたら、うら側の布の上からあて布をして、アイロン(120℃~140℃)で10~15秒、おさえる。(冷えるまでさわらない)



かざりをつけたら完成!!

マホークロスでかざりつけ

① マホークロスをすきな形に切って、つるつるした面を下にして、布にのせる。



② あて布をして、こすらないようにアイロンを低温~中温で約10秒、しっかりあてる。

※マホークロスをつけたあとにアイロンをかけるときは、あて布をしてかける。



※面ファスナーやマホークロスのせ착が弱い場合は、様子を見ながら、もう一度、アイロンでおさえてください。